



「第11回コミックコンベンション」ポスター用直筆原稿

九州芸文館 KYUSHU GEIBUN-KAN





手塚治虫記念館

見て、触れて、感じる、手塚治虫の世界

手塚治虫は、5歳から約20年間を兵庫県宝塚市で過ごしました。その宝塚に、手塚が生誕し、育ち、自然への愛と生命の尊さをテーマにした手塚記念館は開館しました。

詳しくは… [手塚治虫記念館](#) [検索](#)

●開館時間 午前9時30分～午後5時まで（入館は閉館30分前まで）

●休館日 毎週水曜日（祝日と重なる日は開館）年末（12月29～31日）

●お問い合わせ先 宝塚市立手塚治虫記念館 TEL:0797-81-2970

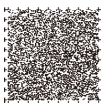
■交通

○JR・阪急宝塚線「宝塚」駅下車、花のみちを徒歩約8分

○阪急今津線「宝塚南口」駅下車、宝塚大橋を渡り徒歩約5分

※2018年12月25日～2019年3月31日は展示リニューアル等のため休館

■お問合せ
九州芸文館（筑後広域公園芸術文化交流施設）
〒833-0015 福岡県筑後市大字津島1131
TEL: 0942-52-6435
URL: <http://www.kyushu-geibun.jp>



Uni-Voice
このマークは、目が不自由な人などが使う音声コードです。



■交通案内

- JR
九州新幹線「筑後船小屋」(博多から約25分)下車、徒歩1分
- JR鹿児島本線「筑後船小屋」(博多から快速で約50分)下車、徒歩1分
- 西鉄バス
50番(久留米-船小屋)「筑後船小屋駅前」バス停下車、徒歩1分
- 車
九州自動車道「八女IC」から約10分、「みやま柳川IC」から約15分
- 駐車場
103台(2時間まで無料/以降1時間100円)



手塚治虫作品と 筑後地域の歴史

『火の鳥 黎明編』と古代の歴史

『火の鳥 黎明編』に登場する邪馬台国や卑弥呼の話に関連して、『魏志倭人伝』『日本書紀』などの歴史的記録や地域に残る伝説を基に、筑後地域の弥生時代の終わり頃(2世紀後半～3世紀頃)の様子をご紹介します。

『ブラック・ジャック』

第109話「死者との対話」と医学の歴史

解剖をテーマにしたストーリーにちなんで、ここ筑後地域においていち早く解剖に取り組んだ人物の資料展示を行います。オランダ商館の医師・シーボルト(1796-1866)が来日する前年の1822年に筑後地域で初めて人体解剖を行い、「解体図志」を作成したとされる久留米藩の藩医・酒井義篤(1759-1839)についてをご紹介します。

観覧料

一般	800円	(600円)
高大生	500円	(300円)
小中生	300円	(100円)

※65歳以上の方は特別割引料金(600円)
※()内は20名以上の団体料金
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方およびその介助者は無料

■主催：九州芸文館美術展実行委員会 ■共催：西日本新聞社 ■企画制作：手塚プロダクション
■制作協力：東映



©手塚プロダクション

九州芸文館開館5周年記念特別展

手塚治虫展

2018年12月1日[土]～2019年1月27日[日]

■開場時間:10:00～17:00(入場は16:30まで)
■休館日:月曜日、12月29日(土)～1月3日(木) [ただし12月24日、1月14日(月・祝)は開館、翌12月25日、1月15日(火)休館]

会場:九州芸文館 福岡県筑後市大字津島1131 [九州新幹線・JR鹿児島本線「筑後船小屋」徒歩1分]

TEZUKA OSAMU



「手塚ワールド」へようこそ！



“マンガの神様”と称される
手塚治虫（1928-1989）の
展覧会。『鉄腕アトム』『ブダ』
『火の鳥』『ブラック・ジャック』
『ジャングル大帝』『リボンの騎士』をはじめ、
手塚が生涯に手がけた膨大なマンガや
アニメーションの中から、厳選した約200点の原稿・
映像・資料、さらには愛用品などを中心に、その作品に
込められたメッセージの数々をご紹介します。また、特別出品
として『火の鳥 黎明編』や『ブラック・ジャック』第109話
「死者との対話」の原稿などを展示し、その作品とあわせて
見ていただける筑後地域の歴史の資料も展示します。
生命の尊厳や宗教、思想、文明など、
普遍的で深遠なる手塚治虫の
世界を様々な視点から
ご堪能ください。

©手塚プロダクション



手塚治虫

TEZUKA Osamu (1928-1989)

本名：手塚治

日本のマンガ家。大阪府豊中市生まれ。大阪大学医学専門部卒業。医学博士。1946年新聞連載の4コママンガ『マアチャンの日記帳』でデビュー。1947年『新寶島』が大ヒットする。以来、日本のストーリーマンガの設立に尽くす。また、アニメーションの世界でも、1963年に国産初となる30分テレビアニメーションシリーズ『鉄腕アトム』の放送を実現するなど、大きな業績を残す。代表作に『鉄腕アトム』『リボンの騎士』『火の鳥』『ブラック・ジャック』『三つ目がおとる』などがある。



『ジャングル大帝』直筆原稿 1950～1954年



『リボンの騎士』直筆原稿 1953～1956年



『ブラック・ジャック』直筆原稿 1973～1983年



『火の鳥』直筆原稿 1967～1988年

Events 関連企画

◆オープニング記念イベント「ギャラリーツアー」

本展会場をまわりながら、作品解説をお楽しみいただけます。

講師：清水義裕(株式会社手塚プロダクション 取締役)

日時：12月1日(土) ①11:00～ ②14:00～ (各回 約1時間)

会場：展覧会場 申込不要 参加無料(※ただし本展観覧券が必要です)

◆ミュージアムコンサート「手塚治虫アニメーション音楽の世界」

曲目：『鉄腕アトム』ほか

出演：トランペット：小野本明弘(九州交響楽団)、トロンボーン：高井郁花(九州交響楽団 首席奏者)、ホルン：木村睦美(九州交響楽団)、ピアノ：林紋子

日時：12月22日(土) 第1部13:30～ 第2部15:00～(各回 約30分)

会場：エントランスギャラリー 申込不要 参加無料 先着順

主催：(公財)アクロス福岡 九州芸文館美術展実行委員会

◆実験アニメーション上映会「ある街角の物語」

手塚治虫(原案・構成・総監督)の実験アニメーション第1作「ある街角の物語」を上映。

日時：12月24日(月・祝)

2回上映 ①13:30～ ②15:30～(各回 約40分)

会場：教室工房3・4 定員：80名(先着順)

対象：幼児～大人(小学生以下は保護者同伴)

申込不要 参加無料(※ただし本展観覧券が必要です)



◆スペシャルトーク「マンガと現代美術」

登壇者：田中圭一(漫画家)＋榎木野衣(美術評論家)

司会：花田伸一(キュレーター)

手塚治虫のバロディギャグマンガを描くイタコ漫画家の田中氏と、戦後の表現者の歴史においてマンガを重要なジャンルとして位置づける榎木氏をお迎えして、“マンガ”と“現代美術”の間観点から語っていただきます。

日時：1月14日(月・祝) 13:30～15:45

会場：教室工房3・4

定員：80名(要申込、応募多数の場合は抽選)

参加費：2,000円(本展招待券付)



「うつまけ」より
田中圭一 自画像

◆専門家によるレクチャー「マンガ史における手塚治虫」

マンガ史の観点から手塚治虫の作品を紹介していただきます。

講師：表智之(北九州市漫画ミュージアム 専門研究員)

日時：1月20日(日) 13:30～15:30 会場：教室工房3・4

定員：80名(先着順) 申込不要 参加無料(※ただし本展観覧券が必要です)

◆学芸員によるギャリリートーク

学芸員が展覧会の鑑賞ポイントをお話します。

日時：1月12日(土) 14:00～14:45 会場：展覧会場

申込不要 参加無料(※ただし本展観覧券が必要です)

◆体験コーナー「ぬりえ」

手塚治虫マンガに登場するキャラクターのぬりえが体験できます。

日時：会期中随時 会場：展覧会場内

申込不要 参加無料(※ただし本展観覧券が必要です)

撮影コーナーで撮った写真は #手塚展 @芸文館 でSNSに投稿してください。
最新情報は館内入口・ホームページ・Facebook(「九州芸文館美術展実行委員会」で検索)ページにて

〈申込方法〉
「往復はがき」にて受け付けます。(※1枚につき、2名までご応募できます)
「往信用裏面」に①郵便番号 ②住所 ③電話番号 ④氏名(ふりがな) ※2名でご応募される場合はそれぞれ氏名を明記してください。
「返信用表面」には①郵便番号 ②住所 ③氏名(2名の場合は代表者名)を明記のうえ、下記までお申し込みください。
〔あて先〕
〒833-0015 福岡県筑後市大字津島1131 九州芸文館「手塚治虫展 スペシャルトーク」係
〈申込締切り〉12月28日(金)消印有効

※応募多数の場合は抽選となります。結果は「返信はがき」にてご連絡いたします。
※ご応募にいただいた個人情報は本イベントの連絡にのみ使用いたします。
※消える筆記具使用不可。郵送料が不足している場合は受理・返信できませんのでご注意ください。